



成隣だより

令和2年 11月2日
第7号
昭島市立成隣小学校
校長 星野 典靖

ふれあい月間×ほめる力

副校長 原 善哉

東京都は、6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、社会全体で児童の健全育成を図る取り組みを行っています。本校でも、子供たちがより安心な学校生活を送れるように取り組んで参ります。

さてみなさん、三重県にある「ほめちぎる教習所」をご存知でしょうか。自動車の教習と言えば厳しい教官に叱られながら教習を受け、検定を乗り越えて免許を取得した思い出があります。おそらく自動車免許をおもちのみなさんの中には、同じような経験をされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかしこの教習所は、「叱る」ことではなく「ほめる」ことで教習をしているのです。ニュースで目にした時は、少子化と若者の車離れに向けて放った一企業の特色ある取り組みにしか感じていませんでした。むしろ、叱られたくない若者の受講は増えるだろうが、命に関わる資格であるのに、そんなに甘いことで良いのだろうかとも感じました。

しかし追跡調査では、教習所の卒業生たちの「運転免許試験の合格率は増加」し、さらには「交通事故の事故率は減少」しているという結果が出ているのです。私は驚きとともに、このメカニズムの秘密をととても知りたくなり、教習所経営者の著書「ほめちぎる教習所のやる気の育て方」を読みました。

きちんと「ほめる」ということは、実に難しいものです。お世辞やおべっかになってしまったり、相手には「おだてられてるのでは？」と感じさせてしまったりすることがあるからです。

著書には「ほめるちぎる教習所」として改革を進め、教官全員が本気で「ほめる練習」をして、お世辞でもおべっかでもない、本当の「ほめ方」を体得していることが書かれていました。まさに「ほめて伸ばす、ほめて育てる」手法を整理し体系化し見事に実践しているのです。さらにその効果は教習生に留らず「教官自身が気持ちよく仕事ができるようになったこと」や「職場の雰囲気がとても良くなったこと」「教官や教習生の家族にまで良い影響が伝わっていること」など、大きく広がりを見せているのです。とても素晴らしいと思いました。同時に教師として親として、私たち大人が実践すべき内容だと感じました。

ほめの実践方法として「まずは毎日、人でも物でもその『いいところ探し』を続ける。その取り組み（練習）の中で、ほめる相手の行動や人間性の理解が深まり、本気でほめることができるようになる。そこには信頼関係が深まり、伝えたいことが伝わりやすくなる。つまり叱る必要がなくなるのである。だまされたと思って3ヶ月は続けてください。」と著者は記していました。いくつか引用したいキーワードを紹介します。

- ★「ほめる」は「認める」★「ドンマイ」より「ナイストライ」★「すみません」を「ありがとう」に
- ★ほめ言葉 魔法の3S「すごい」「さすが」「すばらしい」
- ★私メッセージ「君ができて、私は嬉しい」「君が成功して私は助かった」
- ★叱る教え方は「基準に満たしていない部分を指摘する」もの。

ほめる教え方は「今、基準のどこまでできているのかを知らせる」もの。

皆で「ほめる」ことを練習し習慣化できたなら、「免許の合格率が増加」するように「児童の学力が向上」し、「事故率が減少」するように「ケンカやいじめが無くなっていく」そんなすてきな日常を作ることができると強く信じています。そのためにもこの「ふれあい月間」をぜひ「ほめ強化月間」にしていきたいと思います。

皆様の「ほめ実践」を、成隣おもいやりメールに寄せてください。学校とご家庭・地域社会の皆様と連携した「ほめシャワー」で、子供たちの自尊感情をはぐくんでいきましょう。よろしくお願いいたします。

「成隣おもいやりメール」アドレス seirint39@city.akishima.ed.jp

日	曜	11月の学校行事
1	日	
2	月	
3	火	文化の日
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	委員会
10	火	安全指導 内科検診(2・4・6年) 元気アップ①
11	水	
12	木	6年宿泊学習
13	金	6年宿泊学習
14	土	
15	日	
16	月	クラブ活動
17	火	避難訓練
18	水	
19	木	6年ふくべ細工体験
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	元気アップ②
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

11月の生活目標 「落ち着いた生活をしよう」

元気アップが始まります！

体育主任 今井 健人

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためスタートを延期していた放課後元気アップの取り組みを再開いたします。

本校で開発した元気アップガイドブックを基に考案した様々な運動遊びのブースを校庭に用意します。「この運動を行いたい！」と集まってきた子供同士と一緒に汗を流しながら交流を深めることができます。現代に失われつつある「子供たちの遊びの時間・空間・仲間」を取り戻す機会として、ぜひ参加させ、みんなで楽しく体力アップ！コミュニケーション能力アップ！

1～3年生は、14:45～15:15

4～6年生は、15:30～16:00

4年生社会科見学

担任 森田 直弥

10月20日に羽村市に社会科見学に行ってきました。見学場所は、羽村市郷土博物館、羽村取水堰、まいまいず井戸です。

博物館では、実物大の水門の大きさに圧倒され、先人の知恵や工夫を学ぶことができました。

感染対策のため、あまり話を聞いたり、物に触れたりすることはできませんでした。しかし、一人一人が学習の目標をもち、自分の目でしっかりと見て学習に取り組めました。

教室での学習とは違った緊張感があり、子ども達の普段は見ることでできない一面を見ることができました。

自転車に安全に乗っているかな

交通安全については学校便りにて折に触れお知らせしています。今回は自転車の交通安全です。児童のみなさんは、安全に注意しながら自転車に乗っていますか？公園の近くで車道にはみ出しながらたくさんの自転車が止まっていますと言うお話も聞いています。二人乗りや、並んで走行、手放し運転、スピードの出し過ぎなど、危険な乗り方をしていないか、おうちの方と一緒に再点検してください。警視庁から啓発教材「自転車に安全に乗っているかな？」と一緒に配布します。ご家族でご覧ください。

土曜補習教室ご利用ください

9月から市教育委員会主催の土曜補習教室が始まっています。対象は3年生以上の希望者です。

今後の予定は、

12月 5日(土)

12月12日(土)

1月30日(土) の3回です。

1学期に開催できなかった分、市派遣の講師の先生を3人ずつ追加して毎回9人の講師の方が来てくれます。じっくりと学習を見てもらえるチャンスですので、ぜひ活用してください。申込書は毎回1週間前に配布します。お待ちしております。